

## ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)  
群馬県前橋市元総社町七三―五  
TEL 027・2555・3434  
FAX 027・2555・3435  
<http://www.neues-asahi.jp>

定期的に通っている病院では、新型コロナウイルス対策として検温、手の消毒、飛沫感染予防のためのアクリル板やビニールシートの設置がされ、さらにソーシャルディスタンスをしています。

以前とは違った病院風景ですが、そんな待合室や検査室の前にかけてある何気ない風景の絵画作品に目をやると、何故か心が穏やかになりほっとした気持ちになります。また、美しい音楽に癒されることもあります。

絵画作品や立体作品、そして日常使う器一つにしても私たちがどれほど精神面で助けられていることでしょう。

東日本大震災から新型コロナウイルス感染拡大、そして大雨による自然災害・・・人が生きていく前に次から次へと突然起こりうることに對して言葉が出ない状況は続きます。

しかし、眠れない夜にラジオから流れてくる懐かしい音楽やDJの言葉にだけの人々が心救われたことでしょう。

青春時代に聞いたフォークソングや父親が歌っていた懐メロ、絵描き仲間が集まって酔いつぶれながらも歌っていた歌詞や当時の様子が少し前のことのように甦ってきます。いろいろとあったものの良き時代だったかもしれません。とは言っても、今は今。現実を受け止めて新しい生活様式というものを作り出さなければならぬのかと自問自答。自分にとつての新しい生活様式とは、いったいどんなものなのか考えています。

三ヶ月休廊の日々の後、「第4回楯田展」で八人の作家の新作と向き合い、「白川昌生・しらかわともこ展」会期中に白川氏と美術の動向や制作現場、美術教育など幅広い話を数人の作家を交えて話し合いました。その中でも美術や音楽が幼児から成人になるまでの間にどれほど重要なものなのか、また指導する立場から技術だけでなく物事の捉え方、言語教育を含めた方法論なども同時に重要視していく必要があることなど・・・興味深い内容でした。大きな社会構造の中にあつて自由に表現していける場、また経済的なバックアップなど難しい問題が山積みな現状での活動は、表現者としてどこまで可能なのか多くの作家たちが抱えている問題です。

多種多様なネット社会、情報が溢れている現在、新型コロナウイルス感染拡大に伴うリモートによる在宅ワークや授業などが人々にとつてどこまで可能なのかも問われ始めている昨今です。そんな時に再び病院で一枚の絵画をふと思ひ出しています。

(武藤)

## ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

## 斉藤健司作品展 ― 75年目の夏 ― 〈企画〉

会期 八月一日(土)～九日(日)  
午前10時～午後5時30分(最終日は午後5時)  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

ノイエス朝日での斉藤健司氏の展覧会も今回で八回目になります。終戦から「75年目の夏」を迎える今年の夏は人類にとつても多くの犠牲者を出している新型コロナウイルス感染拡大の真つ只中にいます。

世界中で起きている内戦、紛争、戦争も多くの犠牲者を出しています。75年目を迎えた今年も作品と向き合い新たに平和であることの大切さを考えてみましょう。

## コロナ禍の中の作家たち展

石井 克 倉田 章子 桑原 康枝 小暮 芳宏  
多胡 宏 田島 和雄 手島 まき子 中林 三恵  
正田 由利子 山岸 千冬 吉田 光正

会期 八月十五日(土)～十九日(水)  
午前10時～午後5時30分(最終日は午後5時)  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

コロナ禍の中にあつても日々の生活の中で絵画や版画、彫刻を創りつづけています。この営みは自分を支えてくれるものであり人間としての証しでもあります。十一名の作品をお楽しみください。

ご来廊の折には、マスクの着用をお願いいたします。

## 久保茂雄彫刻展 〈企画〉

会期 八月二十二日(土)～二十八日(金)  
午前10時～午後5時(最終日は午後4時)  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

久保茂雄氏のノイエス朝日で初の個展です。以前、久保氏から預かった資料に「制作するに当たって」という文章があります。

「テーマは自然。広範囲で、つかみ所ないようですが、自然と生き物の関わり、自然物の物をアレンジ・デフォルメ(省略・誇張)して、材料(木・鉄・焼き物)等、生かされるようにしながら、生命感や情感が出るように制作しています。人と人との出会いからさまざまなドラマが生まれるように、物と物・人と物との間にもドラマが生じます。

制作過程では、取ったり、付いたり、大きさを変えたりしながらも、最初のイメージから外れ、意外な展開に至ることも多々です。しかし基本はさりげない自然さです。(略)

自然界は、さまざまな要因で変化しています。つり合いを保つために天気は変化します。ささやかな変化には味わいもありますが、大きな不均衡は大災害を生みます。不動の作品には均衡、自然さが不可欠です。(略)」

作品の写真十数点は、言葉通り自然と共存している人物や生命感溢れるフォルムが躍動的で心をうちます。四十数点の作品との出合いが楽しみです。

## 石川薫記念地域文化賞受賞者特別講座

恒例になりました特別講座のお知らせです。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ソーシャルディスタンスにより先着三十名限定で開催予定です。詳細につきましては、次回にご案内いたします。

## 講師 早田 勉(そうだ つとむ)氏

演題「火山灰でわかつた群馬の歴史災害」

日時 九月十日(木)午後一時三十分～三時  
会場 ノイエス朝日 スペース1  
定員 先着三十名  
費用(資料代)未定  
主催 一般財団法人 群馬地域文化振興会

展覧会及び特別講座につきましては、ご来廊の折にはマスク着用とアルコール消毒をお願いいたします。